



















築一八〇年の重要文化財

本家

かみときくにけ

上時国家

Built 180 years of  
Important Cultural Properties  
KAMI  
TOKIKUNIKE

由緒

源平の合戦に敗れ難波に配流された平大納言時忠（平清盛の義弟・平家一門一門の實力者）を祖とし、八百五十七代続く名家。その時因と次の代で二百石時因村を興し、子孫は製塩や海運も手掛けて繁栄を続けた。江戸時代には大納言大庄屋として二十ヶ村を兼ね、二十一代当主は北前船交易でも財を成し、百八十年前に巨大で立派な納屋敷を建てた。

重要文化財指定の建物

主屋

本主人時國字書き、唐破風廻廊廻り正副玄関。建坪百八十九坪は、近世本流民家では最大規模。屋根の高さ十八メートル。家の厚みは平均九十五センチ。見事な梁組み、障子の手の込んだ造りなど。

「近世本流民家の到達点を示す」として重要文化財に指定された。

米蔵

酒樽棚 数行など、優れた保存機能をもつ。

納屋

主屋建造時の作業所から始まり、後に炭の保管などに使った。建物の景観要素としても残っている。

名勝

上時国家庭園

鎌倉様式の回遊池園式庭園で、簡素ながら壮麗である。樹木と苔の緑の濃淡が一年を通じて輝きと彩をみせてくれる。（三層から眺めることとなります）







































